

事前評価チェックシート

計画の名称： 環日本海交流を支える物流ネットワークの整備（地域活性化）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合等 1) 計画の目標が港湾計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応 1) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応 2) 緊急性、必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものになっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 関連する機関との調整が図られている。	○

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年02月01日

計画の名称	環日本海交流を支える物流ネットワークの整備（地域活性化）													
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	秋田県													
計画の目標	効果的・効率的・計画的な改良を実施し、安定した物流ネットワークの維持を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		498	A	498	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	R4までに改良が必要な施設の対策率を0%から100%に向上させる。 改良が必要な施設数に対する対策済施設数の比により算出 (改良対策済率) = (改良済施設数) / (改良必要施設数)	0%	33%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	秋田県	直接	-	重要	改良	船揚場(改良)	船揚場 L=140m	男鹿市/船川港 ・本港地区						498	-	
											小計						498		
											合計						498		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31			
配分額 (a)	9	241			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	9	241			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	9	120			
翌年度繰越額 (f)	0	121			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

平成30～令和4年度 社会資本総合整備計画（地域活性化） 整備計画 位置図（船川港）

